

ICT 教材・機器 活用事例

学部	高等部	学年等	1年 B	教科	音楽
授業名(単元名)	GarageBand で曲をつくろう(創作活動)				
活用した場面	一斉学習	個別学習	協働学習		

1. 使用した ICT 教材・機器および使用した理由・方法

① 1人1台 iPad および "GarageBand" app

作品を簡単に制作できるため、一般的にはハードルが高い「創作」の学習に、苦手意識なく取り組むことができる。

② 電子黒板(+説明用 iPad)

説明用の楽曲や、生徒が制作した作品の演奏を映像として再生しながら、リアルタイムで説明を書き込める。

2. ICT 教材・機器を活用した活動場面

活動内容	指導上の留意点	準備物
<p><u>第1次(個人作品の制作)</u></p> <p>○GarageBand の基本、および本時の学習について電子黒板を使った説明を受ける。(一斉学習)</p> <p>○1人1台 iPad を使用して、練習用の作品を制作する。(個別学習)</p> <p>○練習用作品を紹介する。</p> <p>○自由にジャンルを選んで個別に作品を制作する。</p> <p>○作品を紹介し、感想を出し合う。(協働学習)</p>	<p>・授業開始時には端末を配付せず、説明に集中できるようにする。</p> <p>・できるだけ専門用語を用いずに説明して理解を促し、苦手意識をもつことのないように配慮する。</p> <p>・生徒が実際に活動する内容に沿った説明になるように心がける。</p> <p>・各自が音を出しながら活動を行うと音が混じって制作しづらく、また集中もしづらいだろうことを考慮し、個人用イヤホン配付する。</p> <p>・はじめは練習として、<u>いくつかのジャンル(プリセット音源)</u>の中から最もシンプルなもの指定し、その中の<u>ループの並べ方の工夫</u>を主な活動に設定することで作品を無理なく制作できるようにする。</p> <p>・生徒の活動状況を把握し、適宜ことばかけなどのサポートを行う。</p> <p>・各自の作品の特徴をポジティブな言葉で評価する。</p> <p>・生徒の活動状況を把握し、言葉かけなどのサポートを適宜行う。</p> <p>・「感想を出し合う時は、作品の特徴をポジティブな言葉で表現する」というルールを伝え、各自が成功体験を得られるように配慮する。</p>	<p>②電子黒板+説明用 iPad</p> <p>・<u>個人用イヤホン</u></p> <p>①1人1台 iPad + GarageBand</p> <p>②電子黒板</p> <p>↓ ↓</p>

<p>第2次(共同作品の制作)</p> <p>○電子黒板を見ながら復習し、本時の活動についての説明を受ける。 (一斉学習)</p> <p>○2~3名のグループを組み、1人1台 iPad を使用して、共同作品を制作する。 (協働学習)</p> <p>○作品を発表し、感想を出し合う。(協働学習)</p> <p>○次回以降の制作の方向性について説明を受ける。 (一斉学習)</p>	<p>※授業開始時には端末を配付せず、説明に集中できるようにする。</p> <p>・説明用 iPad の演奏画面を電子黒板に映し出し、<u>ループ音源の重ねかたやループセットの活用について</u>、ペンで記入しながら説明する。</p> <p>・今回の共同制作でのルールを示す。 (単体ループのみ使用→ループセットの活用→曲の終わりがた)</p> <p>・各自がイヤホンをつけても共同作業できるように、<u>複数のイヤホンを接続して同時に1台の端末の音声を聴けるアダプター</u>を配付する。</p> <p>・グループの活動状況を把握し、言葉かけなどのサポートを行う。</p> <p>・「感想を出し合う時は、作品の特徴をポジティブな言葉で表現する」というルールを伝え、各自が成功体験を得られるように配慮する。</p> <p>・各自の作品の特徴や、長所をポジティブな言葉で評価する。</p> <p>・次回以降は、創りたい曲のイメージをもち、曲名を考えたり、構成を考えたりしながら、意図をもって制作するという方向性を伝える。</p>	<p>②電子黒板 +説明用 iPad</p> <p>・個人用イヤホン +アダプター</p> <p>①1人1台 iPad + GarageBand</p> <p>②電子黒板</p>
--	---	---

3. 活用の成果

- ①1人1台の利点をいかし、各自の端末で基本操作の習得や練習作品の作成、個人作品の制作を行ったのち、共同作品の制作に入った。共同作品の制作では、グループで活発に相談しながら積極的に楽しく創作活動を進めていく姿が見られた。GarageBand や iPad そのものの基本操作が、創作活動を行う協働学習の中で自然に身についた。
- ②実際に行う活動を電子黒板に映し出し、ペンで書き込むなどして説明を行うことで生徒たちの理解が深まった。自分たちの作品を紹介して感想を出し合う場面では、客観的に自己評価し、手直したいところを的確に把握して、電子黒板上で指し示すことができていたグループもあった。